

ボルネオ北部の砂岩中のモナズ石の年代分布と供給源について

Age distribution of detrital monazites in the sandstones from the northern Borneo and its tectonic setting

横山 一巳^{1*}, 堤之恭¹, 黄 嵩凱²

YOKOYAMA, Kazumi^{1*}, Tsutsumi Yukiyasu¹, Willy Bong Shun Kai²

¹ 国立科学博物館 地学研究部, ² 東京理科大学 総合化学研究科

¹National Museum of Nature and Science, ²Dept. of Appl. Chem. Tokyo Univ. of Science

ボルネオの北部に後期白亜紀から始新世末期に堆積したタービダイトが広く分布している。これらは、ラジャング層群と呼ばれている。この地層を流れている4つの河川から重鉱物を採集して、その中のモナズ石の年代分布を求めた。4つの河川のモナズ石の年代分布は、1850-1900Ma, 400-500Ma と 200-300Ma に主要ピークがあり、700-1100Ma になだらかなピークが確認された。このような年代分布は、東南アジアから供給されたものではなく、中国南部から供給されたものである。南シナ海の拡大が漸新世には始まっていたこと及びラジャング層群の堆積後に大きな不整合があることを考えると、少なくともボルネオ北部は、南シナ海の拡大時に中国南部の海洋側から現在の位置に移動してきたものと推定できる。ボルネオ南部及びインドネシアの一部も同じ時期に移動したと考えれば、動植物相の境界であるワラッセ線や中新世にインド洋と太平洋の繋がりが縮小したことを説明できる可能性がある。

キーワード: モナズ石, 年代, ボルネオ

Keywords: monazite, age, Borneo